



ボランティアをしたい人と、してほしい人をつなぐ

浜松ボラセンだより

18号
2023.9

発行 / 社会福祉法人 浜松市社会福祉協議会 ボランティアセンター

浜松市ささえあいポイント事業「交流研修会」開催

～ボランティア登録者同士の交流の場として～

新型コロナウイルスの感染症法上の位置づけが「5類」に引き下げられたため、定員を増やして開催しました。

コロナ禍のときより多くのボランティア登録されたみなさんが集まり、活動報告や講義を聞いて、今後のボランティア活動への意欲化を図る機会となりました。

可美会場	可美公園総合センター	ホール	7月28日(金)
浜北会場	浜北文化センター	大会議室	8月28日(月)



■ 活動報告 … やらまいか喜導鯛 さん

- チンドンを始めたきっかけは、いろいろな格好をして、人を喜ばせてみたいということでしょうか。
- チンドンをやって、みなさんに喜んでもらえると、満足感があります。他の人のためにボランティア活動をしているようですが、実は自分のためなんです。
- 自分たちが培った演奏や芸を披露することで社会が明るくなれば、ボランティア活動としての大きな喜びです。これからも、みなさんに笑顔と活力を届けていきたい、と思っています。

■ 講演 「落語から学ぶコミュニケーション」

講師 落友会 中野 英樹 氏

- コミュニケーションは、はじめの1分間が大切です。季節や天候の挨拶をする
と緊張がほぐれて、ちょうどよい
と思います。



- 話を分かりやすくするには、一文を短くすることが大切です。そして、まず「結論」を話し、次に「理由」「詳細」を、最後にまた「結論」を伝えるという話し方をすると、聞き手に分かりやすくなります。



- 相手に上手に伝えるには、細かすぎるほど伝えることが大切です。情報の受け止め方の決定権は相手にあります。ですから、情報が少ないと、自分の都合のよい解釈をする傾向が強くなります。
- 「いい行い」は、「こだま」します。仲間を連れてきたり、大きくなったりして戻ってきます。
- 「今まで旅行に行った中で、一番よかったところ、一番の思い出」について、よいコミュニケーションのコツを生かして、隣同士で話すこともしました。

「ボランティア講演会」に参加しませんか！

「ボランティアは、様々な『出会い』がオモシロイ」をテーマに、ボランティアをする楽しさ、魅力について「出会い」というキーワードから考えます。

また、今、ボランティアグループを運営していく上で課題となっていることについて、運営者、グループの一員として、どんなことができるのかについても考えます。

- 1 日時 令和5年10月2日（月）午後2時から午後3時30分まで
- 2 会場 浜松市福祉交流センター（4階）小ホール
（浜松市中区成子町140-8）
- 3 講師 京都光華女子大学 教授 石井祐理子 氏
- 4 対象 浜松市内でボランティア活動をしている方、
あるいはボランティア活動に関心のある方
- 5 定員 100人（先着順）
- 6 参加費 無料

